

## 主論文の要旨

Questionnaire survey on lifestyle of patients with nonalcoholic steatohepatitis

(非アルコール性脂肪肝炎における生活習慣のアンケート調査)

東京女子医科大学消化器内科学教室

(主任：立元敬子教授)

野登 はるか

J.Clin. Biochem. Nutr.雑誌 第55巻 第3号 191頁～195頁(平成26年11月1日発行)に掲載

### 【要旨】

非アルコール性脂肪肝炎 (NASH) 患者では運動不足や食事の過剰摂取がその発症や進行に重要な役割をしている。NASH、非アルコール性脂肪肝 (NAFL) と健常対照者で運動習慣や、食習慣などについてアンケート調査を行った。男性 NASH 患者では夕食の摂取時間や主食の摂取量、肉料理、揚げ物、麺類、菓子類の摂取量などの食習慣が健常対照者と有意に異なった。一方、女性 NASH 患者では主食の摂取量、外食の頻度、菓子類の摂取量で違いが認められた。また、男性 NASH 患者では有意に運動量が少なかった。肥満のない NASH においても健常対照との比較で食習慣に違いを認めた。アンケート調査の結果からは特に男性 NASH 患者において、食習慣、運動習慣が病気の発症、進行に強く関与していることが示唆され、男性 NASH 患者の治療において食生活の是正が重要であると考えられた。これに対し女性 NASH 症例では、食習慣の違いは少なく、遺伝的背景を基盤にもつ生活習慣病のコントロールが重要と思われた。